

河南科技大学臨床医学院看護科

訪問報告書

河南科技大学臨床医学院看護科・東邦大学医学部看護学科
国際交流 報告書

目次

- 1 はじめに
高木学科長
- 2 国際交流参加者および洛陽訪問日程
国際交流参加者名
日程表
- 3 訪問報告

国際交流委員名、作成月日など

1 はじめに

洛陽との交流のはじまり

看護学科長 高木 廣文

昨年（平成 20 年）の 5 月に昆明医学院での交流を終え、日本に帰る途中に洛陽を訪れてから、すでに一年近くが過ぎてしまいました。そのときから、この古都洛陽にある河南科技大学の看護科と国際交流ができればよいのだからと考えていました。その理由はいくつかあります。

まず第一に、趙傑剛先生をはじめ、皆さんが極めて教育や研究に熱心であることです。これは当たり前のことですが、国際交流を続けて行くには、それなりの熱意がないと勤まりません。

第二に、日本で研修を受けた方がいるということです。ご存じのように、趙傑剛先生は、看護学科が医療短期大学時代に本学に研修に来ていますし、その後、日本の大学院に進まれ、修士と博士の学位を取得しています。また、看護部長の王朝娟先生も福島県の須賀川で 1 年間の研修を受けていました。その他にも、何人かの方が岡山県で研修を受けていました。これまで知らなかったのですが、洛陽は岡山と姉妹都市であり、国際交流が盛んなようです。日本の事情について理解がある方がいるのは、国際交流を進めるときに生じやすい誤解をできるだけ少なくするためにもありがたいことです。

第三に、比較的行きやすい距離であるということです。あまり遠距離だと、時間と経費がそれだけ必要になりますので、できるだけ近いにこしたことはありません。

その他にも、大学や周囲の環境なども重要ですので、この点からも洛陽は申し分ないと思います。治安も良く、（私にとって）最も重要な食事は、やはり長い歴史の中で培われたのか、我々にはあまり知られていないような中華料理があり、繊細で美味しさは例えようのない料理が多数あります。

今回は、調印のための文書の整備とともに、実際に病院や看護科の施設などを見学させていただきました。洛陽の 3 月はまだまだ寒い冬の日でしたが、大学本部のその広大な敷地には、ただただ驚嘆させられました。ますます発展するであろう中国の躍動力を垣間見た思いです。

個人的には、中国独自の医学である「中医」とはどのようなものなのかをもっと知りたいと思うし、中国武術は健康法として実際にどのくらい大衆に浸透しているのかなど興味が尽きません。

今後は、中国での看護師教育の制度や実践、現在の課題などを検討して、我々にできることは何か、またこれからどのような方法でお互いに協力していくのが良いのかを、長期的な展望のもとに考えていきたいと思っています。

2 国際交流参加者および洛陽訪問日程

国際交流参加者名

高木廣文（看護学科長 国際委員会 委員長）

森 秀美（講師 国際委員会 委員）

細谷幸子（助教 国際委員会 委員）

日程表

日付	時間	内容
3月9日(月)	21:15	洛陽到着
3月10日(火)	08:20-08:50	朝食(於:新友谊大酒店)
	09:00-11:30	看護教育・大学施設見学(景华、开元キャンパス) 看護授業見学
	12:00-13:00	昼食(於:新友谊大酒店)
	13:00-14:00	昼休み
	14:20-17:30	両校看護教育現状紹介(外科ビル 16階)
	18:00-20:00	歓迎パーティー(於:新友谊大酒店)
3月11日(水)	08:00-09:00	朝食(於:雅香楼)
	09:00-10:00	覚え書き、共同研究、学生教員交流の協議 (総合病棟会議室)
	10:00-11:30	病棟見学 実習生との交流
	12:00-13:00	昼食(於:御香苑)
	13:00-14:00	昼休み
	14:00-15:15	看護教師との交流(総合病棟会議室)
	15:30-17:00	看護学生との交流(総合病棟会議室)
18:00-19:00	夕食(於:上海人家)	
3月12日(木)	07:00-08:00	朝食(於:芳達商務会館)
	08:00-11:30	龍門石窟、閔帝廟見学
	12:30-13:30	昼食(於:洛陽水席)
	14:00-15:30	障害者施設見学(202病院)
	15:30-17:00	洛陽市障害者連合会副会長との会見
	17:00-17:50	買い物
	18:00-19:00	夕食(於:牡丹城回転レストラン)
	19:30-20:30	新区夜景見物

3月13日(金)	07:00-07:30	朝食(於:雅香楼)
	07:30-12:30	少林寺見学
	12:00-13:00	昼食(於:老洛阳面馆)
	13:00-17:00	白馬寺、天子驾六見学
	18:00-19:00	送別パーティー(於:新友谊大酒店)
3月14日(土)	08:00-09:00	朝食(於:面点王)
	9:00	洛陽空港へ(10:30 洛陽→北京→成田)
	18:55	成田到着

3 訪問報告

写真は、河南科技大学の看護科がある建物です。河南科技大学には、18の医学専門教育部門があり、看護科はそのうちの一つです。

キャンパスの向かいに、付属病院（河南科技大学第一附属医院）が見えます。



看護科は2003年から5年制の学士課程になっています。3年間の基礎教育のあと、2年間の専門教育を受けます。最終年度に40週間の臨床実習をおこないます。

写真は学生の授業風景です。学生たちはとても積極的で、教室は活気にあふれていました。

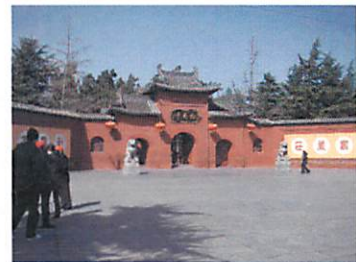
河南科技大学は、約2万人の学生が学ぶ大学です。現在、洛陽市の新区に、巨大なキャンパスが建設されています。このキャンパスは、教室棟（写真の建物）や学生食堂のほか、学生寮、教職員居住区、専門研究センター、スポーツスタジアムなども擁する、一つの学園都市となる予定です。キャンパスからは、現在建設中の新病院も見えました。





看護科の教員は、臨床でも働いています。写真は、ICU病棟のスタッフと実習中の学生たちです。日本で看護研修を受けた教員もおり、これまでの日本との国際交流が、さまざまな場所で活かされていることに感激しました。

今回の訪問では、大学と病院だけでなく、洛陽市の地区病院にある高齢者病棟や、訪問看護もおこなっている保健センターの見学もしました。写真は、地域の人々のニーズに答え、自宅での療養が難しい高齢者を受け入れている、高齢者病棟のスタッフたちです。この明るい笑顔は、高齢者の方々にも共有されていました。



龍門石窟、少林寺、白馬寺も訪れることができました。



滞在期間中は、張書記、趙院長、王副院長、王先生（看護科副教授）、趙先生（看護科副教授）をはじめとする方々に、あたたかく心のこもったおもてなしを受けました。本当にありがとうございました。

国際交流委員会

委員長 岡田 敦子
副委員長 野崎真奈美
委員 量 倫子
佐山 理絵
細谷 幸子
徳永 恭子

発行日 平成21年6月8日

発行 東邦大学医学部看護学科 国際交流委員会

〒143-0015 東京都大田区大森西4-16-20

TEL 03 (3762) 9881